

病害虫防除技術情報 第2号

富山県農林水産総合技術センター所長

斑点米カメムシ類の多発について

1 発生状況

- (1) 令和8年6月17日～19日において水稻病害虫発生予察定点調査ほ場ですくい取りによる調査を実施したところ、水田内の捕獲頭数は2.5頭（平年0.7頭）、ほ場周辺の畦畔・雑草地の捕獲頭数は14.7頭（平年8.2頭）といずれも平年より多かった（表1、2）。

2 防除対策

- (1) 北陸地方の7月～8月の気温は平年に比べ高いと予報されているため、斑点米カメムシ類がさらに増殖するおそれがある。
- (2) 早生品種の幼穂形成期がかなり早くなっており、出穂期が早まると見込まれることから、畦畔等の草刈りは遅れず確実に実施し、防除計画の前倒しを検討する。

草刈り運動期間：6月26日（金）～7月5日（日）

一斉草刈り日：6月27日（土）～6月28日（日）

- (3) イネ科雑草の穂は斑点米カメムシ類の好適な餌となるため、草刈り後もイネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底する。
- (4) アカスジカスミカメはノビエやホタルイの穂を好むため、水田内の除草を徹底する。
- (5) 早生品種は、穂揃期と傾穂期の2回の基本防除を徹底する。例年、斑点米カメムシ類の発生が多い地域では、予め追加防除を検討する。

【留意事項】

※農薬散布にあたっては、事前に周辺住民等に対して十分な周知に努め、周辺作物や住宅地等への飛散防止を徹底するとともに、農薬の使用回数、使用時期等の基準を遵守する。

※養蜂が行われている地域では、農薬散布前に養蜂業者へ連絡するなど、ミツバチの危害防止対策に努める。

【参考資料】

◎ 斑点米カメムシ類生息密度調査結果

表1 水田内における斑点米カメムシ類調査結果

令和8年6月17～19日調査

	カスミカメムシ類				トゲシラホシカメムシ		合計 (その他カメムシを含む)	
	アカスジカスミカメ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数
	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数				
本年	8.9	0.9	51.1	1.4	6.7	0.1	55.6	2.5
前年	6.7	0.3	29.5	0.8	0	0	31.1	1.1
平年	4.9	0.2	25.4	0.6	0.4	0.0	28.7	0.7

※20回振りすくい取り調査結果、調査場所：水稻病虫害発生予察定点ほ(45か所)

※平年はH28～R7年の平均値

表2 畦畔・雑草地における斑点米カメムシ類調査結果

令和8年6月17～19日調査

	カスミカメムシ類				トゲシラホシカメムシ		合計 (その他カメムシを含む)	
	アカスジカスミカメ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数
	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数	確認地点 率(%)	調査地点 平均頭数				
本年	52.3	7.9	62.2	6.5	6.7	0.1	75.6	14.7
前年	60.0	10.4	66.7	8.8	17.8	0.2	84.4	19.4
平年	38.1	4.6	42.5	3.2	10.4	0.1	65.3	8.2

※20回振りすくい取り調査結果、調査場所：水稻病虫害発生予察定点ほ(45か所)

※平年はH28～R7年の平均値



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



トゲシラホシカメムシ

問合せ先 農業研究所 病理昆虫課
TEL076-429-5249 FAX076-429-2701